

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）概要

AI戦略2019

- 文理を問わず、一定規模の大学・高専生（約25万人／年）が自らの専門分野への数理・データサイエンス・AIの応用基礎力を習得
- 大学・高専の正規課程教育のうち、優れた教育プログラムを政府が認定

「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）」の創設について」報告書に基づき、制度設計

種類・主な要件

認定教育プログラム (MDASH- Advanced Literacy)*

- 大学、短期大学、高等専門学校等の正規の課程
- 学生に広く実施される教育プログラム
※学部・学科単位による申請可
- 具体的な計画の策定、公表
- 数理・データサイエンス・AIを活用して課題を解決する実践的能力育成のために必要な知識及び技術を体系的に修得
- 学生に対し履修を促す取組の実施
- 自己点検・評価（履修率、学修成果、進路等）の実施、公表
- 当該教育プログラムを実施した実績のあること
※ リテラシーレベルの認定取得は要件ではないが、リテラシーレベルの教育内容との関係性を明確にする必要



認定教育プログラム プラス (MDASH-Advanced Literacy+)

- 左記認定要件を満たすこと
- 大学等の特性に応じた特色ある取組が実施されていること

今後の予定

- 2022年3月 公募開始
- 2022年5月 申請受付締切
- 2022年7～8月 認定・選定

→ 以降、毎年公募・認定を実施

* Approved Program for Mathematics, Data science and AI Smart Higher Education

数理・データサイエンス・AI教育にコミットする大学・高専を応援！ 多くの大学・高専が数理・データサイエンス・AI教育に取り組むことを後押し！



認定手続き等

- 審査は外部有識者（内閣府・文部科学省・経済産業省が協力して選定）により構成される審査委員会（3府省共同事務局）において実施
- 審査の結果を踏まえ、文部科学大臣が認定・選定
- 取組の横展開を促進するため、3府省が連携して認定・選定された教育プログラムを積極的に広報・普及